

◎大崎地区県営ほ場整備事業推進協議会による本省要望活動が行われました



▲農林水産省にて吉川農林水産大臣への要望書提出の様子。左から伊藤大崎市長、千葉栗原市長、氏家理事長、吉川農林水産大臣、伊藤衆議院議員、小野寺衆議院議員

令和元年6月12日（水）、大崎地区県営ほ場整備事業推進協議会（会長：江合川沿岸土地改良区 氏家理事長）による要望活動が行われました。

今回の要望活動では農林水産省、財務省、衆議院会館、自民党本部を回り、農業農村整備事業の安定した事業推進に向け、当初予算の確保を強く要望しました。

昨年度に引き続き、栗原地区県営ほ場整備事業推進団体と合同による要望活動を行い、農業農村整備事業の重要性について地元の声を直接伝えました。

◎江合川沿岸土地改良区・大崎土地改良区・涌谷町土地改良区の合併統合に向けた研究会が発足しました

江合川水系の大崎土地改良区、江合川沿岸土地改良区、涌谷町土地改良区の3つの土地改良区の合併統合に向けた「江合川水系3土地改良区統合整備研究会」の設立総会が、令和元年6月7日（金）、江合川沿岸土地改良区大会議室にて開催されました。

本研究会の会長に江合川沿岸土地改良区の氏家理事長、副会長に大崎土地改良区の菅原理事長、涌谷町土地改良区の小野寺理事長が就任し、関係市町、水土里ネットみやぎ及び北部NNが本研究会の構成員となっています。

今後、合併・統合に関する勉強を重ねていき、まずは「研究会」から「推進協議会」への移行を目指しています。



▲令和元年6月7日（金）研究会設立総会の様子。

◎小牛田農林高等学校の学生を対象に農業農村整備学習会を実施しました

令和元年6月27日(木)、小牛田農林高等学校農業技術科農業土木コースの1年生40人と2年生39人を対象に、農業農村整備事業学習会を開催しました。

この学習会は農業土木コースで学ぶ高校生に農業農村整備への理解を深めてもらい、今後の学習に役立ててもらう為に、平成18年度から毎年開催しているものです。

今回の学習会では国営造成施設である「ニツ石ダム(加美町宮崎)」、「桑折江頭首工(大崎市三本木)」及び、平成29年度まで農地整備事業を実施した「青生地区(美里町・大崎市)」の見学を通して、農業用水や農業水利施設の役割、ほ場整備の効果等について学びました。

生徒の皆さんは、ニツ石ダムの地下70mにある監査廊へ降りる長いスロープや、青生地区の1haに整備された大区画のほ場に大変驚いた様子でした。



▲青生地区の説明を受けている2年生の皆さん。熱心に説明を聞いていました。



▲ニツ石ダムをバックに集合写真を撮影しました(写真は1年生)。

◎北部管内農業用排水施設安全対策委員会幹事会を開催しました



**用水路やため池に近づくのは
キケンです!
地元への周知徹底をお願いします**

児童・生徒の水難による死亡事故は毎年発生しています。昭和56年度から平成30年度までの38年間において、県内で延べ183人が水難事故により死亡しており、そのうち子供は65人にのぼります。

農業用排水施設においても水難事故は発生しており、こうした事故の発生を未然に防ぐため、北部NN部長を委員長とした「北部管内農業用排水施設安全対策委員会」を設置しており、令和元年6月27日(木)大崎合同庁舎大会議室において今年度の幹事会を開催しました。

今回から北部教育事務所が委員会の構成員として加わり、児童・生徒への周知徹底をより強固にしていきます。

これから小中学校が夏休みに入り、農業用排水施設の付近で遊ぶ子供が増えることが懸念されます。土地改良区等におかれましては各施設の安全管理をよろしく願います。

◎「道の駅おおさき」がオープンしました

世界農業遺産関連トピックス

令和元年7月5日（金）、大崎市古川の中心部に「道の駅おおさき」がオープンしました。物産販売施設やカフェで地元のブランド米「ささ結」などを使った食品や料理をそろえ、世界農業遺産・大崎耕土の魅力を発信しています。

この道の駅は、大崎市が旧市民病院跡地約9,000㎡に木造平屋970㎡の建物や約100台分の駐車場、防災・イベント広場を整備しました。また、大規模災害時には煮炊き用のかまどとして転用できるベンチや組み立て式マンホールトイレなども備えられており、災害への備えの意識が高い施設となっています。

オープン初日となる5日は朝から来場者の長い行列ができ、野菜や加工品が次々に売れました。物産販売施設の営業時間は午前9:30～午後6:30となっています。

大崎地域へお越しの際はぜひ「道の駅おおさき」にお立ち寄りください。



▲店内には世界農業遺産関連のパネル等が掲示されています。

◎水神祭(すいじんさい)が執り行われました

今年1年間の安定的な用水確保と洪水被害の防止等を祈念して、各土地改良区において水神祭(すいじんさい)が開催されています。

江合川沿岸土地改良区では令和元年4月20日(土)、三丁目頭首工にて実施し、土地改良区役員18名、施設管理人1名、土地改良区職員9名の計28名が出席し、祈念しました。江合川沿岸土地改良区では本神事を平成2年より継続して行っています。



▲三丁目頭首工管理棟前にて儀式が執り行われました。



▲大崎土地改良区内会議室において執り行われました。

大崎土地改良区においても水神祭が執り行われました。

大崎土地改良区では令和元年6月24日(月)、改良区内会議室にて実施し、土地改良区役員18名、土地改良区職員11名の計29名が出席し、用水の安定確保を祈念しました。大崎土地改良区では本神事を改良区合併以前より継続して実施しています。

◎北部NN新規採用職員を紹介します

北部NNに今年度新たに2名の新規採用職員が加わりましたので、紹介いたします。

管理指導班

安部 恭輔 主事

初めまして。今年度より北部NN管理指導班に配属となりました、安部恭輔です。

出身は山形県の南陽市です。辛味噌ラーメンの龍上海が有名です。趣味はサイクリングです。こちらに引っ越してからはあまり乗れていないので、これからもっと自転車で散策し、大崎地域の町並みや近隣地域を知ることができたらと思っています。是非おすすめスポットを知っていましたら教えてください！

皆さんにはご迷惑をおかけしていますが、精一杯努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。



農地整備第五班

鈴木 拓也 技師

皆さま初めまして。今年度より北部NN農地整備第5班に配属になりました鈴木拓也と申します。

出身は青森県八戸市ですが、小中高と宮城県で過ごしてきました。高校は小牛田農林高校を卒業しました。趣味は、映画鑑賞です。多いときで週1回のペースで観ることがあります。ちなみにジャンルは、SFモノやアメコミが大好きです！

これから農地整備事業を担当しますが、まだまだ分からないことばかりでと多くの方々にご迷惑をおかけすると思いますが粉骨砕身の思いで頑張りますのでこれからもご指導ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。



◎概要図「令和元年度 大崎・栗原地域の農業農村整備」が完成しました



北部管内のNN事業概要図「大崎・栗原地域の農業農村整備」の令和元年度版が完成いたしました。

この概要図には、大崎・栗原管内の県営事業及び団体営事業地区の概要、地区の進捗率、地区の位置及び受益図等、業務の参考となる情報が掲載されています。

各種研修会における配布等、概要図をご活用されたい場合は、用途と必要部数を北部NN計画調整班までご相談ください。

宮城県北部地方振興事務所農業農村整備部

〒989-6117 宮城県大崎市古川旭四丁目1番1号(宮城県大崎合同庁舎4階)

TEL 0229(91)0701(代)

FAX 0229(23)5014

ホームページ <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-sgsin-ns/>

編集:北部PRWG